

淡青丸 研究航海報告

東京大学海洋研究所

- * 航海番号 KT-07-7 次研究航海
- * 観測海域 三陸沖
- * 航海期間 平成19年4月16日～30日
- * 出港日時・場所 平成19年4月18日・小名浜(福島県)
- * 入港日時・場所 平成19年4月30日・塩釜(宮城県)
- * 寄港期間・場所 平成19年4月20日～22日・釧路
- * 航海の研究題目 春季ブルーム時の大気・海洋間の物質循環の変遷
(SOLAS/BLOCKS I & II 航海)

* 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は@)

植松光夫・東京大学海洋研究所 海洋科学国際共同研究センター・教授・
uematsu◎ori.u-tokyo.ac.jp

* 研究内容, 主調査者 (e-mail アドレス), 観測項目

1. 春季の西部北太平洋における黄砂による植物プランクトンブルームの出現に関する研究
津田敦 (tsuda◎ori.u-tokyo.ac.jp)、硝酸塩測定、クロロフィル a 測定
2. 春季の西部北太平洋におけるブルーム水塊中の生物量や種組成の研究
鈴木 光次 (kojis◎ees.hokudai.ac.jp)、植物プランクトンの現存量と群集組成
浜崎 恒二 (hamasaki◎ori.u-tokyo.ac.jp)、細菌群集構造
3. 海水中および大気中における生物起源気体濃度の経時変化に関する研究
永尾一平 (i.nagao◎nagoya-u.jp)、海洋と大気の大気 DMS とその関連物質の測定
横内陽子(yokouchi◎nies.go.jp)、海洋大気中のハイドロカーボンと
ハロカーボンの測定
4. 大気中における生物起源気体のエアロゾルへと粒子化する過程の研究
植松光夫 (uematsu◎ori.u-tokyo.ac.jp)、大気エアロゾル捕集、大気エアロゾル濃度測定、
大気中オゾン濃度測定、海水表層懸濁物

* 乗船研究者氏名・所属・職名

- 植松 光夫・東京大学・海洋研究所・教授
- 津田 敦・東京大学・海洋研究所・准教授
- 成田 祥・東京大学・海洋研究所・産学官連携研究員
- 谷口 亮人・東京大学・海洋研究所・特別研究学生
- 岩本 洋子・東京大学・海洋研究所・大学院学生
- 多田 雄哉・東京大学・海洋研究所・大学院学生
- 川名 華織・東京大学・海洋研究所・大学院学生
- ジョン ジニョン・東京大学・海洋研究所・研究生
- 永尾 一平・名古屋大学・環境学研究科・助教
- ウン ヨンジュン・北海道大学・地球環境科学院・大学院学生
- 大木 淳之・国立環境研究所・NIES ポスドクフェロー
- 今井 圭理・東京大学・海洋研究所・技術職員
- 小林 不二夫・マリンワークジャパン・観測技術員

* 航跡・測点図

